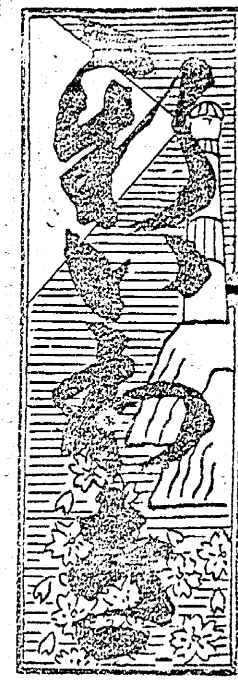
三月七日　夕刊



日刊但シ日曜祭日休刊　一ヶ月廿五錢　郵料一部二錢　廣告料一行四十錢　場所指定二十錢增　發行兼編輯印刷人 牛名政喜　發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

平町新豫算の修正案
八萬二千余圓を削減
四十一萬六千九百九十二圓
遂に振落された公會堂
但し位置決定の上追加

平町の豫算町會は昨六日午後四時過ぎに及ぶ委員會を經て明八日午後二時から本會を開かれるが揉みにもんだ公會堂は遂に振り落されて原案額の四十九万九千二百圓は八萬二千二百八圓を削減四十一萬六千九百九十二圓となつた修正案の大要は前記公會堂建設費八万圓の外區長及び區長代理報酬の增額を從來に戻し公有勵産の火保契約高を低めて百九十二圓各種團体補助金から三百二十圓を減じたるもの其の他による所記の減額で歲入方面では十萬圓の公債を四萬圓となしたる外に特別戶數割の一圓高を五十錢に小學校高等科の授業料二十錢値上げを撤廢されたるを主として大小の削減を行はれたものである而して振り落された公會堂は調所位置が主問題である爲め委員を上げて詮衡に當り來る四月迄までに適地を撰み追加決定をたす由であるから大体に於て理事者案を承認された譯となるが位置のみが問題であるなれば本豫算より之れを全部的に殺す必要なく本案の爲めに上ぐる委員をして位置の研究に當らしむればよく建築費が過大なりとせば此の際の減額に差支へない譯であるから殊更に追加附議とされた理由が不可解とも云ひやう兎に角に明後日の本會議は決算委員長に佐々木龍若、豫算委員長に野崎滿藏兩氏の報告を終れば其の他の案件は勿論一瀉千里に議了の模樣であるから午後四時頃までに閉會されるであらう

十三日會例會
今夜の講演
マルトモ樓上で

平町十三日會では今七日午後七時からマルトモ樓上に例會を開催する今回の講演け題未定だが講師は元滿鐵社々會教育主事杉本森吉氏で來聽を歡迎すると

磐中卒の就職者と上級校の入學決定
進學者は十一名就職は四名
模範的な佐藤忠一君の善行

縣立磐城中學に於ける進學率は現小檜山校長の赴任以來格段に好成績を見せてゐるが今回の卒業生及び四年生からの上級校入學を決定せるもの左記の如く既に十一名を算し次へで撰拔的の就職者は四名を上げてゐる合計十五名は何れも各特長をもつものであること云ふ迄もないが同生徒の中に特筆さるべきは滿鐵就職の佐藤忠一君で同君は平町大町出身家業は湯屋を營むものに對し入學以來兩親の業を助け現下の酷寒にも通學の前後に於て自家裏の新川に卒身を浸し俗に云ふ川炭の掬ひ上げに全身の凍ふるを厭はず以て業資の一部を補ふ外深夜には湯槽の落しから掃除に至るまで翌朝また未明に床を蹴つて病弱の母に勞を煩はさず朝餉の總てを整へて登校すること在學五年を一日の如く眞に涙ぐましい勤勞裡に勉學を續けて併かも學業け優等に近い成績を上げてゐる稀なる善行に對して特に同校から特別の表彰を受けた

上級校入學決定 海軍兵學校 水野亨 縣師二部 猪狩功 盛岡高等農林々學科 植田文男 同高等農林化學科 伊東義郎 東亞同文書院 新田目正夫 堀深(縣下優等生十三名から撰拔された本縣留學生) 神戸高商船 [illegible]大、海軍機關校 堀越祐吉 縣師二部 吉田鉄吉 同 藤田正巳 東京高師 赤津千四 ▲就職 滿鐵 佐藤忠一 伊藤輝弘 福鐵 社員消費組合 金子元彥 東海村勇(以上)

火災の中から老翁を救助
昨日隅田川炭鑛長屋の火事で

石城郡好間村の北好間隅田川炭鑛坑夫長屋から昨午前十時半頃發火二棟十一戶を全燒して同十一時半鎭火したが同火災に際し平山定吉(七〇)が逃げ遲れて燒死するばかりを消火に馳つけた同鑛坑夫安齋利雄(二三)湯田徹(二四)斧子金藏(二二)の三名は協力して救助し此際湯田は火炎に煽られて顏面を火傷したが三名は近く平署の申請で知事の表彰を受ける筈

千分の十一は高い
火保料率引下意見書(三)
平町の何所から見ても不當

之を要するに大風に等しき風力の場合は豫測し得ざるも無風又は弱き風力に於ては數戶延燒する如きは想像し得ざる所なりとまで規律訓練消火戰術の技能練磨消防施設完璧せりと信ず、

七、昭和十年三月廿八日平消防組は規律訓練勵篤、技能練磨、施設優秀の故を以て大日本消防協會長內務大臣より優良旗を授與せらる此の最も榮譽ある表彰を受けたるは本縣に於ては獨り平消防組あるのみ全國に於ても一万三千組數の中僅かに十三組に過ぎず畢竟優良消防の出現け消防界の福音なりと稱すべし、

以上列記したる如く何れの點より考察するも平町地域に限り火災保險料率を低下することは當然の歸結なりと信ず斯る現實を顧みず漫然劃一的に料率を定むるは基礎條件の調査杜撰の結果なるもの〻如く思惟せられ斷然肯定し能はざる所なり而して優良消防の表彰を受けたる市町村に對し料率を低減することは一面消防の發達向上を促し火災危險率を防止し直接に各協定火災保險會社の利害に關する意義深きものあるのみならず保險營業の性質たる社會政策の一として相互扶助の精神に基づき單に營利のみを目的となし得ざるものあり特に合理化を要する筈と確信す、希くは更に再調査を遂げ速かに料率を引下相成度特殊のものを除くの外一般的には千分の七に引下を實現せらる〻こと妥當なりと思考し茲に町會滿場一致の決議を以て意見提出候に付當町の希望候樣御配慮相成り度候也。(以上)

常識講座

フイニットとは既成的のことだ、フイニッシユはもの〻終り、仕上げ、競技の決勝及び決勝點を指し、其の決勝點に畫く線をフイニッシユ・ラインと云ふが如き誰もの知る通

磐城中學第三十六回卒業生
【いろは順】

會川三郎治　赤津徹　阿部源一郎　阿部康司　阿部順吉　阿部知之　阿部瑞夫　新田目正夫　飯島德治　猪狩功　猪狩一郎　猪狩平郎　猪狩次男　猪狩三千男　猪狩依彥　石井弘道　石山福太郎　市川英雄　伊藤一良　伊東彌郎　井上操　浦山健二　植田文夫　遠藤景久　遠藤清八　遠藤祐藏　大内二郎　大越三男　太田正三　大竹勇雄　大谷好道　大谷德雄　大友章　大平光夫　大平光夫　小川勝巳　越智廣德　小野清一　小野昌造　小野大一　小野忠一　小野幸雄　織内好文　貝原孝正　風間行雄　金成正雄　金古正明　金子元彥　川島正巳　菊地正　菊池啓郎　木田淑夫　北郷丈一　北郷浦夫　木村滿　草野泰昌　草野敏雄　草久保廣造　楢正博　[illegible]次郎　國井重　熊谷明　熊井健三　小倉森卓　上坂昇　隆典　兒玉泰平　小島沼武　木幡定義　小林二郎　小林房治　小牧忠雄　小松眞治郎　齋藤勇　齋藤乙弘　齋藤實一　齋藤秀夫　齋藤浩　齋藤宏　酒井清一　坂本邦夫　坂本光平　坂本清一　佐々木義弘　佐藤健治　佐藤健夫　佐藤止　佐藤忠一　佐藤忠司　佐藤傳　佐藤利夫　佐藤利長　佐藤光　佐藤久男　佐藤政雄　佐藤喜貞　佐藤力夫　三戸孝祐　三木松武　志賀久太郎　志賀四家又郎　重田孝造　柴田忍　嶋崎英美　東海林勇　白土佐平治　菅波七郎　杉田敬一　鈴木謙司　鈴木顯治　鈴木佐太郎　鈴木節長　鈴木武男　鈴木忠教　鈴木力　鈴木計　鈴木初　鈴木弘　鈴木正治　鈴木裕　關内榮三　高木喬　高木芳郎　高木貞藏　高野光雄　高萩保壽　田久元　立瀧口末吉　武田恭三　伊達卿弘　田中英男　谷平嘉彰　丹野幾之助　津田輝雄　戶倉米造　中澤利夫　中澤登　永島俊春　中島義男　永山弘　新妻止　新妻忠直　新妻利雅　新妻政美　西原宗男　根本正賢　根本義夫　箱崎彰　長谷川磐雄　早川榮久　波立一二三　深谷榮助　舟生清　古川良一　星眞熙　堀深　前松陽郎　松崎榮一　松崎莊枝　松崎尊次　松原幸次　松原幸作　三島五行　水野清人　水野亨　水野吉巳　宮川登　宮本光浩　村上辰良　森下滋雄　柳澤一郎　矢野繁雄　矢吹利平　山口普重一　山崎武　山添尚三　山野邊彌八郎　山部正幸　山本吉右郎　吉田俊男　吉田秀男　吉田眞　吉田勇二　若松正　若松信雄　若松英雄　涌井勝美　渡邊宏　渡邊保一　渡谷政男

小學剣士の大試合
明日平第三校で

武德會平、植田の兩分會主催小學校剣士の剣道大會は明八日午前十時から平第三小學校に催されるが參加校は高等八尋常三の十一校五十五名の小選手で審判は平署の鈴木部長と商業の藤井剣道教師である

洋服は高島屋　高島屋洋服店　電話三六六

天氣豫報
今晩は北の風、(薄曇)
明日は北の風、(曇)
(小名濱測候所)

ランドセル 二.〇〇ヨリ

誠光院儀葬送の際は遠路態々御會葬被下殊に御鄭重なる御香奠を賜はり御厚志の段難有奉深謝候拜趨御禮可申述筈の處乍略儀以紙上御禮申上候

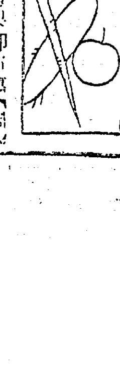
昭和十一年三月七日

諸橋敬一郎
諸橋武
外親戚一同

平中央青果卸市場【調】

青物	高値	安値
大葱(一貫)	二六〇	三三〇
小把葱(百把)	二、七〇〇	二、〇〇〇
油菜(百把)	一、〇〇〇	六〇〇
人參(一貫)	一五〇	一三〇
牛蒡(一貫)	三六〇	三三〇
ほうれん草(百把)	一、六〇〇	九〇〇
馬鈴薯(一貫)	三八〇	三三〇
根水菜(一把)	一〇〇	…
切芋(一貫)	三六〇	三五〇
へら芋(一貫)	四三〇	三五〇
大和芋(一貫)	四七〇	…
切干(一貫)	七六〇	…
雌卵(一貫)	一、七〇〇	…
深漉(一貫)	一六〇	…

果物
八ツ代(一ケ)　天 三五錢　竹 二九錢
金松 三〇錢
久(一函)　靜岡本園
大寶 六〇錢　ツル 五七錢
カメ 五二錢
〃並物　大寶 五五錢
ツル 五〇錢　カメ 四五錢
マツ 三五錢　タケ 三〇錢



小名濱測候所 週報 氣溫

日		平均溫度 攝氏	最高溫度 攝氏	最低溫度 攝氏
2月27日	本年	0.3	4.8	-4.1
	昨年	8.0	11.4	4.5
	平年	3.5	8.3	-1.0
28日	本年	0.3	1.4	-1.0
	昨年	7.3	14.7	1.9
	平年	2.9	7.7	-1.2
29日	本年	0.8	5.2	-2.7
	昨年			
	平年	-4.3	9.9	-0.2
3月1日	本年	0.8	4.4	-5.8
	昨年	5.4	9.1	1.7
	平年	3.7	8.8	-1.7
2日	本年	1.4	5.4	-2.0
	昨年	6.5	12.2	0.9
	平年	3.8	9.0	-0.8
3日	本年	1.6	7.7	-2.7
	昨年	3.9	5.5	2.7
	平年	3.6	9.1	-1.3
4日	本年	1.3	5.5	-2.2
	昨年	4.1	10.8	-0.8
	平年	3.9	9.5	-0.9

雪害果樹の善後策（二）

農林省農産課園藝係者の語る所を聞記

殊に櫻桃にあつては此の被害が最も多いのであるから融雪の惡いときには人夫賃を幾分多く要するが成るべく早く枝を堀り出すべきであつて青森縣の如きは現在既に盛んに此の方法をとられてゐる由で雪の下にあるものは病虫の爲死をさまたげるところから其の發生を促がすから春先きに驅除の方法を講じなければならない、

野鼠の被害防止、融雪が遲れると食慾にかられたる野鼠は主幹を盛んに食ひ荒すのは當然で此の被害は相當に夥しいものである、苗木などは之れが爲めに全滅せしめられることもある、これを防ぐには被害を受けるものを圍つて避けるか又は石灰硫黄を主としたる藥劑（ホワイトウオッシュ）を塗布すると効果がある倘ほ融雪の方法としては灰、土を雪の上に撒き太陽熱を吸收することを廣く行はれてゐる、春の仕立て方としては根本的に研究する必要が充分であつて山形縣の米澤市の近郊に於て行はれてゐるやうに主幹を長く枝が雪の上に出るやうに仕立てることなどもその缺點には反當收量を減ずるけれども被害除去の上には一方法であらう、一般に堆肥となる肥料を多量に施すことも必要である。（完）

◇一般印刷物も御引受致します　新いわき新聞社

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社

特約販賣　油問屋　關内油店　電話長16　平城

支店　茨城縣關本驛前　電話長平淺七三

油槽出張所　平町四丁目　野依屋前

支店　郡山市驛前通　電話長三二八

スペインG・H・N元詰　ゴルフポートワイン　甘味葡萄酒　1・10　御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です　（電3）（平2）　西村屋藥舗

しづかに　食事の出來る　正しい食堂　正しい喫茶　正しい酒場　平田町　レストラン　サロン　電三五二

内科、小兒科　大森醫院　醫學士　大森勇　平町南町　電二五八番　入院應需

産科婦人科　五十嵐醫院　醫學博士　五十嵐雄二　入院隨時　手術室完備　平町新川町一七　電話三七〇番

産科婦人科　外科　藥局　入院隨意　病室完備　平町新川町九一　電話一六四番　木村病院　醫學博士　木村寅次郎　醫學博士　内木宗八　藥劑師　大畠俊雄

内科、小兒科　外科、花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科　平町田町　電話五一三番　高久病院　院長　醫學士　高久忠

◎開院◎　外科一般特ニ内臟外科　皮膚科　肛門病科　北川外科　レントゲン科　物療法科　平町新川町（諸橋醫院跡）　入院出來マス　醫學博士　北川芳夫　醫學士　奥義弘　電話四六四番

結核に！　ホシアンチッペルケン　1.50　1.50　3.00　5.00

結核恐るゝに足らず!!　「不治の病」とは一種の迷妄——

結核豫防週間

肺結核は年々幾萬の犧牲にあり、結核のために死亡する者は年々十二萬と稱せられ、また死亡までには至らないが、仕事も出來ずブラ〳〵して數人同樣の生活に堪へて居る人々を合すると實に約百萬乃至百五十萬人に上る推定である。當局は毎年結核の撲滅と豫防の爲め擧國の喚起を促す爲に勞め、本年も四月廿七日より一週間を結核豫防週間として全國的に時たれてゐるがこの機會に於て各人が效果あらしめなければならぬ。

肺及び呼吸器疾患

肺疾患者のみに限つず必ず治る、「醫者にかゝるまでもない」と輕視の結果が取返しのつかぬ事になる。

ホシアンチッペルケン

に本能が大なる自信と信頼とを持つて居る理由の一つである

全國オシラエーンストアにあり

ホシアンチッペルケン

「結核の豫防、それは早期發見と早期治療に在る」小冊子あり乞御一讀を願ひ、ホシアンストアに御申込時は本紙見參と御申添下されば幸甚。

東京・星製藥株式會社

平町三丁目　星藥舗　ホシエーンストアー平支部　（電話四二九番）